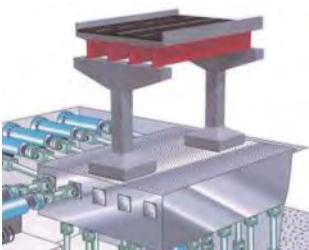
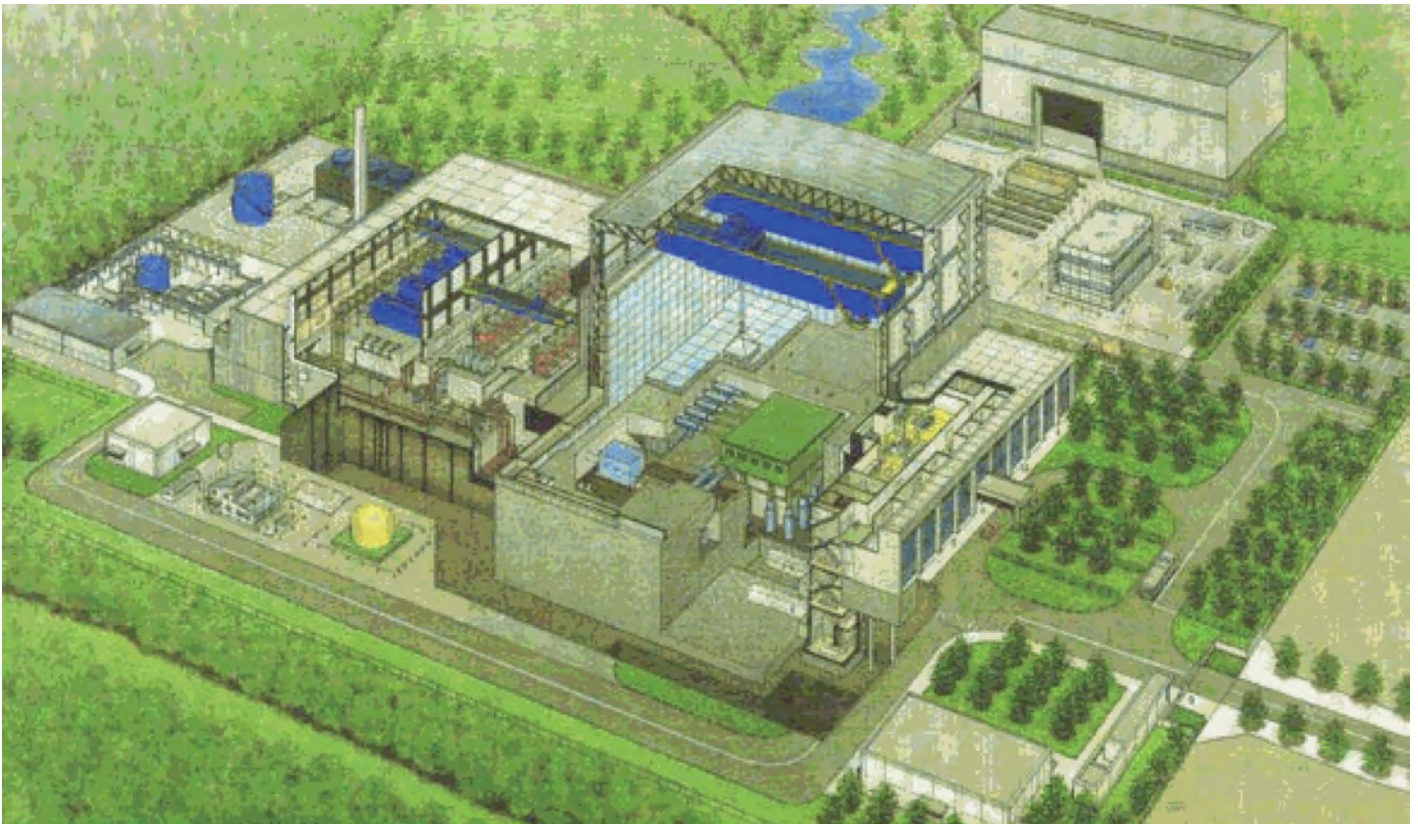
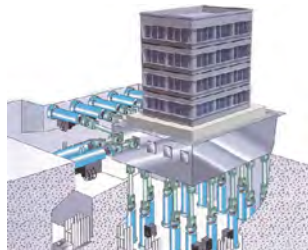


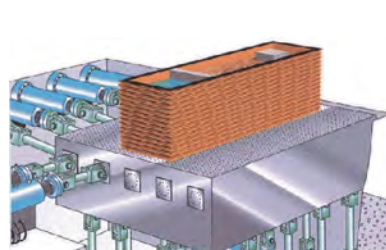
実大三次元実験破壊施設



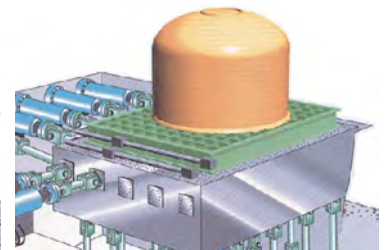
橋梁の地震時被害



実大鉄筋コンクリート4階建て建築



地盤モデルによる液状化試験



危険物貯蔵タンクの安全性試験

発注者 : 防災科学技術研究所

所在地 : 兵庫県三木市

整備概要

面積 : 308 ha の内、6ha が本実験施設敷地

主要施設 : 実験棟、実験準備棟、油圧源棟、計測制御棟、
屋外機器エリア、各種屋外用役設備

工期 : 基礎工事 2000年1月～2001年10月
建築工事 2001年7月～2005年3月

【可能な実験内容】

- 震動台実大三次元震動破壊実験装置（三次元）は、
- ・大型構造物の耐震実験が可能な搭載能力（1200トン）
- ・破壊的大地震の、変位（水平 100cm、鉛直 socm）、速度（水平 200kine、鉛直 70kine）、加速度（水平 0.9G、鉛直 1.5G）を実現できる加振能力
- ・破壊試験を効果的に実施できる加振制御
- 大型構造物の動的挙動を計測・解析する能力
- 等において最新に技術を結集した仕様となっている。

本業務は、独立行政法人防災科学技術研究所が兵庫県三木市に建設する世界最大の実大三次元実験破壊施設建設工事の実施設計業務である。

本施設は、1995年1月の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて兵庫県が地域の総合的な防災拠点を目指して推進する三木市震災記念公園の防災ゾーンに位置し、各種社会資本の耐震性能を研究し安全で豊かな社会建設に貢献することを目的とする研究施設である。